

# プール学院報



第94号

2023年2月・3月  
発行

学校法人 プール学院

〒544-0033

大阪市生野区勝山北1-19-31

TEL.06-6741-7005

FAX.06-6731-2431



2022年12月20日 クリスマス礼拝



クリスマスイルミネーション

## CONTENTS

理事長挨拶	1
<b>[中学校・高等学校]</b>	
校長メッセージ	2・3
コース紹介	2・3
進路実績	4
クラブ等の成果	4
主な行事	5
卒業生紹介	5
グローバルスタディ	6
ハンガーゼロ	7
生徒メッセージ	7
カフェテリアリニューアル	8・9
教諭メッセージ	8・9
後援会	9
PTA	9
同窓会だより	10
プール幼稚園だより	11
法人だより	12
編集後記	12

ご挨拶

## 光あれ ～星の光を見つめて～

理事長 磯 晴久 (日本聖公会大阪教区主教)



初めに神は天と地とを創造された。地は混沌として、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。神は言われた。「光あれ。」すると光があった。(創世記1:1～3)

プール学院に連なるすべての皆様に、ご挨拶を申し上げます。

先日BS放送で宇宙の番組が放映されました。私たち人類は、宇宙についてまだその5パーセントしか究明できていないそうで、あと95パーセントはまだダークな世界、よくわかっていない世界なのだそうです。

その番組の中でアンドロメダ星雲のお話がありました。地球から230万光年の距離に位置し、およそ1兆個の恒星がある渦巻銀河です。私たちが住む銀河系と似ているということで、ずっと見つめている研究者たちがいます。アンドロメダ星雲の中にはあらゆるものを引っ張り込むブラックホールが存在し、そのブラックホールが恒星とすれ違ふとき、恒星が光り輝くことが確認されています。

そして、800億年以上も前、私たちの銀河が誕生し、地球が誕生していく時、原始ブラックホールが存在し、誕生に大きな影響を与えたそうです。その時もアンドロメダ星雲で起こっているように、光輝く現象がまず起こったのではないかと思います。

これはあくまで仮説ですが、私は番組を見な

がら、そうした科学的な知識のない創世記の編集者たちが、まず「光あれ」から創造神話が始める彼らのインスピレーションや洞察力、想像力の豊かさに深く感動を覚えました。夜空の星を見つめながら感じ、探求したのでしょう。

神さまは混沌と暗黒の中、「光あれ。」と言われ「光」が誕生しました。そしてクリスマスの夜、「まことの光」なる主イエスを誕生させられます。この「光」はプール学院にも与えられています。「愛と奉仕の精神」を土台として、この世の「光」として生徒たちが豊かな品性をもった人として成長することを願うプール学院に、この「光」が与えられています。私たちも時折、夜空の星を見つめ、混沌と暗闇の存在を感じさせる今の世界に、「光あれ」とお祈りしましょう。

最後に、従来年2回発行して参りました学院報ですが、中学校・高等学校のみの小規模な学校となったこともあり、今年度より年1回発行となります。今後は、学院報の内容の充実はもちろん、ホームページの充実などに努めて参りますので、どうぞご容赦ください。ご理解の程、よろしくお願ひいたします。

# プール学院中学校・高等学校の「今」

2022年度、この美しい学舎に中学校・高等学校合わせて860名の生徒が学んでいます。2019年度の生徒数が760名であったことを思えば、より多くの方々を選んでいただける学校としての歩みが少しずつ形となって表れてきているのではないかと考えております。

現在、プール学院の生徒達は、中学校は3つ、高等学校は4つのコースに分かれて学んでおり、各コースの特色については別掲で紹介させていただいております。各コースの生徒がその特色ある学びに取り組んでくれていることは勿論ですが、各コースの枠組を越えて実に多様な生徒が学んでくれており、これが学院の大きな財産となっています。

この多様な生徒一人ひとりに対して「居場所」と「出番」を用意することは大変なことです。しかし、自分の通う学校に「安心して居場所があって、自分の出番もある」と実感できた時、生徒たちは心にやりがい生まれ、勉強にもクラブにも前向きに取り組めるのです。すべての生徒に「プール学院には私の居場所と出番がある」と思ってもらえる学校であること、これこそがプール学院に託された使命に他なりません。

先日、東京大学名誉教授の上野千鶴子先生の講演を聴く機会がありました。上野先生は、その講演の中で「控えめでおしとやかな女性に育ててほしいと願って娘を女子校に入れる親が多いが、その親の期待はほとんど裏切られる。女子校では、男子が

## 中学校・高等学校 コース紹介

中  
学



### 一貫特進コース

国公立大学・難関私立大学を目指すコース。中学校3年間は週に37時間の授業を実施すると同時に、週当たり2回の放課後の時間帯に実施する自学自習の時間、学期末に行われる特別授業、さらに、夏休みに4日間の短期集中授業を実施するなど、豊富な学習時間を確保しています。少人数できめの細やかな指導で、志望大学合格を目指します。



### キリスト教大学推薦コース

首都圏・近畿圏の有名キリスト教系大学(文系)へ、指定校推薦を利用して現役進学を目指すコース。キリスト教に関する理解を深めるとともに、ボランティア活動や平和活動に積極的に参加し、それらを通じて、豊かな人格の形成を図ります。また、英語教育にも力を注ぎ、コミュニケーション能力も育みます。



### 総合特進コース

私立大学への現役進学を目指すコース。高校2年から、文系・理系・国際・総合芸術(音楽・美術・舞台芸術)など、多様な進路に対応しています。家庭科や芸術など実習系の授業も多く、自分らしさを活かしながら希望と関心で選択できるカリキュラムを備えています。多くの生徒が、課外活動や海外語学研修に積極的に参加しながら、豊富な指定校推薦を利用して進学を果たしています。

## 充実した指定校推薦制度と海外大学進学への道

高校は次なるステップへの準備段階でもあります。本校には、学校生活を中心に据えた大学進学への道が用意されています。

### 指定校推薦枠数

全国145大学・700名枠以上

### 海外大学進学推薦制度

世界7カ国・約80大学  
(北米へは充実した奨学金制度があります)

### 教育連携協定校

海外: イギリスのケント大学  
マレーシアのテイラーズ大学

国内: 立教大学・同志社女子大学  
神戸女学院大学・大阪芸術大学  
神戸松蔭女子学院大学



## 校長 安福 朗



いない分、生徒会長もクラスの委員長も、文化祭の力仕事も全て女子だけでやらなければならないので、リーダーシップを身につけた逞しい女性に育ってしまう」と話されました。

多感な思春期に、異性の目を気にすることなく、伸び伸びと個性を伸ばすことができる女子教育の素晴らしさを「あえて今の時代に問う」覚悟を持って、スクールモットーである「愛と奉仕の精神」を体現する「逞しい女性」を育てていきたいと思っております。

143年の時空を超えて、今も変わらないプール学院と日々進化しているプール学院を今後もお支えください。

## 高校



### スーパー特進コース

国公立大学・難関私立大学を目指すコース。文系・理系ともに5教科のバランスをとったカリキュラムを設け、少人数の授業も多く、きめ細やかな学習指導を行っています。生徒と教師間のコミュニケーションを大切にしながら、学習状況に応じた指導を展開。学年が上がるにつれ、集団指導から個別指導への転換を図り、現役での国公立大学合格を図ります。



### 特進コース

難関私立大学・有名私立大学への現役進学を目指すとともに、幅広い進路選択に対応したコースです。2年生で文系・理系のいずれかを選択しますが、特に希望すれば、総合芸術コースや国際コースに編入することが可能です。多くの生徒が、課外活動や海外語学研修に積極的に参加しながら、豊富な指定校推薦を利用して進学を果たしています。



### 国際コース

海外語学研修参加を必須とするコースです。1年では会話力の向上を図るため、2週間の海外語学研修に参加し、2年では、1カ月・3カ月・1年間のいずれかの海外語学研修(留学)から1つを選び参加します。週に3時間のネイティブによる英会話の授業のうち、1時間は海外の先生とオンラインで繋がり、マンツーマンの指導が受けられることも大きな特徴の一つです。海外大学への推薦制度も整備されており、世界への道が開けています。



### 総合芸術コース

音楽・美術・(ダンスを中心とした)舞台芸術などでの活躍を目指す人のコース。1年次は、3つのジャンルの基礎を学び、2年・3年次では、各ジャンルに分かれ、週に6時間～7時間の専門科目の授業を受けることができます。専門分野以外にも、演劇やバレエの授業もあり、芸術表現を多面的に経験し、自己の表現力を磨きます。音楽、美術専攻は芸術系の大学へ、舞台芸術専攻は一般文系の大学へ、指定校推薦も含めて現役進学を目指します。

## 2021年度高Ⅲ生の進路状況

進路指導部長 前田 英樹

2022年度大学入学共通テストの志願者数は、ほぼ前年度並みの530,367人(昨年度比99.1%)であった。共通テストが実施2年目を迎え、初年度の警戒感が薄れたことに加え、私立大の共通テスト方式を利用してコロナへの感染リスクを抑えようとする受験生が増加していることなどが影響しているようだ。

受験者数も前年度並みの488,384人で、昨年に引き続き、約1割が出願をしても受験しなかったことになる。12月以降の爆発的なコロナ感染拡大により、すでに総合型・学校推薦型選抜などで入学大学を決めており、必ずしも共通テストの成績を利用しない受験生

が受験を取りやめたものと思われる。(河合塾HPより)

共通テストは昨年より平均点が大幅に下がった。特に数学での平均点ダウンが大きかった。理科でもいくつかの科目で平均点が下がり、特に昨年得点調整が行われた「生物」は49.8点と前年から23.7点の大幅ダウンとなった。

本校では、卒業生181名のうち、4年制大学へ159名(87.8%)、短期大学へ8名(4.4%)各種専門学校へ2名(1.1%)が進学した。昨年と比較して4年制大学への進学が増加した。国公立大学では大阪大学(外国語学部)に1名合格した。

今年度は指定校推薦で進学生が100名と多く、また首都圏への大学へ進学生は6名と少なかった。新型コロナの感染拡大で安全志向、地元志向が強かったと思われる。

### 2022年度入試 合格実績

卒業生数: 181名

人数は現役・既卒生の合計を示す

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
国公立大学計	15	立命館大学	4	大阪樟蔭女子大学	5	森ノ宮医療大学	1	武庫川女子大学短期大学部	6
大阪大学	1	京都産業大学	15	桃山学院大学	5	千里金蘭大学	1	関西外国語大学短期大学部	3
大阪教育大学	3	近畿大学	22	京都橘大学	4	太成学院大学	1	白鳳短期大学	1
奈良女子大学	1	甲南大学	4	京都精華大学	4	大阪医科薬科大学	1	関西女子短期大学	1
奈良県立医科大学	1	龍谷大学	9	関西医療大学	3	大阪音楽大学	1	近畿大学短期大学部	1
兵庫県立大学	1	同志社女子大学	15	京都文教大学	3	大阪産業大学	1	大阪キリスト教短期大学	1
和歌山大学	1	神戸女学院大学	13	大阪芸術大学	3	大阪信愛学院大学	1	夕陽丘学園短期大学	1
電気通信大学	1	京都女子大学	10	大阪大谷大学	3	大阪物療大学	1	専門・各種学校計	4
富山大学	1	武庫川女子大学	22	大阪電気通信大学	3	帝塚山学院大学	1	大阪病院附属看護専門学校	1
帯広畜産大学	1	甲南女子大学	19	追手門学院大学	3	帝塚山大学	1	堺看護専門学校	1
鳥取大学	1	摂南大学	19	関西国際大学	2	4年制私立大学(近畿圏外)計	8	新大阪歯科技工士専門学校	1
島根大学	1	梅花女子大学	10	神戸学院大学	2	立教大学	3	ペルランド看護助産大学校	1
徳島大学	1	四天王寺大学	8	大阪工業大学	2	東京女子大学	1	海外計	1
秋田公立美術大学	1	神戸女子大学	8	大阪体育大学	2	明治学院大学	1	ソウル市立大学 語学堂	1
4年制私立大学(近畿圏)計	287	大和大学	8	京都ノートルダム女子大学	1	東京都市大学	1	就職	0
関西学院大学	12	大阪経済法科大学	7	関西福祉科学大学	1	岡山理科大学	1		
関西大学	7	畿央大学	5	京都芸術大学	1	金沢工業大学	1		
同志社大学	7	神戸松蔭女子大学	5	四條畷学園大学	1	短期大学計	14		

## クラブ等の成果

### 〈団体の部〉

#### 中高吹奏楽部

- 大阪府吹奏楽コンクール中地区大会7.27  
金賞 中地区代表
- 大阪府吹奏楽コンクール8.13 銀賞

#### 高校ダンス部

- ダンスフェスティバル神戸8.10~13  
神戸市長賞

#### 高校体操部

- 第77回大阪高校総合体育大会9.18  
2部団体総合第6位

#### 高校ソフトボール部

- 第51回大阪私学新人大会11.13 準優勝  
近畿私立高等学校女子ソフトボール選抜大会出場

### 〈個人の部〉

#### 高校体操部

- 大阪高校春季大会体操競技の部4.30  
2部種目別平均台優勝・段違い平行棒優勝・  
個人総合第2位 坂上 萌々香(ⅢF)
- 大阪高校2部・3部大会8.2  
2部種目別平均台優勝・個人総合第8位  
坂上 萌々香(ⅢF)

- 第77回大阪高校総合体育大会9.18  
2部個人総合優勝・種目別平均台優勝  
坂上 萌々香(ⅢF)

#### 高校美術部

- 第53回私学写生大会5.29  
奨励賞 高島 愛美(ⅢB) / 角谷 咲奈(ⅢB)  
駿河 菜和(ⅡG)

#### 高校美術部・総合芸術コース

- 第71回大阪私学美術展8.28  
優秀賞 上ノ山 和津子(ⅢA) / 竜 彩夏(ⅡB)  
奨励賞 高島 愛美(ⅢB) / 笹野 菜里(ⅢF)  
延山 千亜枝(ⅢF) / 片岡 美央(ⅡB)  
駿河 菜和(ⅡG)

#### 高校放送部

- 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト  
大阪大会6.19  
アナウンス部門第2位 栗飯原 優衣(ⅡH)  
全国大会出場

#### 高校陸上競技部

- 第77回大阪高校総体陸上競技の部  
3・4地区予選会7.23.24  
2年ハンマー投第3位 池田 亜依(ⅢF)  
2年砲丸投第3位・走幅跳第5位 片岡 美央(ⅡB)  
2年砲丸投第4位・円盤投第4位 山内 悠希(ⅡF)  
2年走高跳第5位 早川 真央(ⅡC)

- 1年円盤投第3位・ハンマー投第3位  
鉦立 菜那(ⅡF)

- 1年砲丸投第5位 亀田 小茉智(ⅡE)

- 大阪高校3・4地区夏季陸上競技大会8.6

- 円盤投第2位 山内 悠希(ⅡF)

- 円盤投第4位 鉦立 菜那(ⅡF)

- ハンマー投第4位 池田 亜依(ⅡF)

- ハンマー投第5位 鉦立 菜那(ⅡF)

- 第77回大阪高校総合体育大会8.18

- 1年円盤投第3位・ハンマー投第6位 近畿大会出場

- 鉦立 菜那(ⅡF)

- 大阪高校地区別秋季陸上競技大会  
3・4地区10.30・31

- 円盤投第5位 山内 悠希(ⅡF)

- 走幅跳第5位 片岡 美央(ⅡB)

- 総合4位

#### 中学美術部

- 第53回私学写生大会5.29

- 大賞 鳥原 碧華(2A)

- 第71回大阪私学美術展8.28

- 大阪私学美術・工芸教育研究会会長賞

- 鳥原 碧華(2A)

- 優秀賞 柴田 遥陽(3B)

- 奨励賞 岸川 明香里(3A) / 志馬 ほなみ(2A)



## 主な行事

### 4月

5日 入学式  
8日 始業の日  
15日 イースター礼拝  
21日 避難訓練  
26日 校外学習  
27日 教会礼拝  
30日 授業参観

### 5月

17~21日 中間考査  
25日 創立記念礼拝  
27日 両親感謝礼拝

### 6月

4日 中学校説明会  
6日 鑑賞の日  
(中: センチュリー交響楽団・高: 文楽)  
21日 体育祭  
30~7月5日 期末考査

### 7月

11日 人権ホームルーム

14日 中学キャリア学習  
7~13・19~27日  
S・一貫特別補講  
22日 終業の日  
23~27日 面談日  
23~8月16日  
イギリス1か月語学研修

### 8月

20日 同窓生対象入試説明会  
22~25日 S・一貫  
プールサマーチャレンジ  
27日 始業の日  
29・30日 実力考査

### 9月

3日 中学校説明会  
10日 高等学校説明会  
16・17日 文化祭  
24日 中学オープンスクール

### 10月

7~14日 中間考査

12~14日

中3British Hills英語合宿  
16日 中学入試プレテスト1  
18日 校外学習  
29日 崇徳女子高との  
オンライン交流

### 11月

3日 高校オープンスクール  
4日 中学合唱コンクール  
5日 中学入試説明会  
9日 宗教講話  
12日 中学入試プレテスト2  
17日 クリスマスツリー点灯式  
18日 収穫感謝礼拝  
19日 大阪府下英語暗誦大会  
26日 高校入試説明会  
28~12月2日 期末考査

### 12月

5~9、15~27日  
S・一貫特別補講  
8日 中2思春期教室  
(バルナバ病院)

10・12日 人権ホームルーム  
10~18日  
オーストラリア語学研修  
20日 クリスマス礼拝  
21日  
キャンドルライトサービス  
22日 終業の日  
23~27日 面談日

### 1月

7日 始業の日  
10・11日 実力考査  
14・15日 中学入試  
27日 高校合唱コンクール

### 2月

10・11日 高校入試  
15日 高校卒業礼拝  
16日 高校卒業式  
25~3月3日 学年末考査

### 3月

2~4日 中2・スキー合宿  
6~10、22~25日  
S・一貫特別補講  
17日 中学卒業礼拝  
18日 中学卒業式  
20日 終業の日  
25日 中学オープンスクール

### オンライン配信したもの(一部抜粋)

- ・体育祭 ・文化祭
- ・中学合唱コンクール
- ・クリスマスツリー点灯式(オンライン)
- ・クリスマス礼拝(配信予定)

配信動画はこちら!



— 期間限定で再配信しています —

シリーズ  
第34回

## 活躍する 卒業生

株式会社馬淵商事 栄養士  
橋本 奈美さん (第109回卒業生)

## 人を笑顔にできる栄養士の道へ

私は子供の頃から料理が好きで、いろいろ創作料理を試作して『料理の鉄人』(当時放送されていた料理対決の番組)の真似をし、家族に食べてもらっていました。料理は自分が楽しむだけでなく、食べる人も笑顔になるものでした。

食は生活に欠かせないものであり、人を笑顔にするものであり、私は将来、食に携わるお仕事をする。と決めていました。

大学進学にあたり栄養士という存在を知り、栄養士は料理を通じ、人を笑顔にできる職種だと確信し、栄養士への道へ進みました。

現在、私は株式会社馬淵商事大阪支店で栄養士として働いています。弊社では学校給食や大学・高校食堂の運営、サービス付き高齢者向け住宅や社員寮などの管理業務等を受託しており、今般、プール学院内食堂運営の受託をいただきました。

食堂運営準備にあたり、久しぶりに母校に足を踏み入れた時には懐かしさと共に毎朝の清心館での礼拝の光景がよみがえりました。

プール学院のスクールモットーである『愛と奉仕』

この言葉が示す『めざす人間像』

それは人から、社会から『あてにされる人』

プール学院学校長のお言葉の中に『知力があることに加えて、人を愛し人に仕える精神を持った人でなければあてにしてもらえない』とありました。

まさに『愛と奉仕』が私の目指すところであり、また、それは自然と自身が習得できるべきものだと思います。

20年以上前にはなりますが、このような理念をもったプール学院で学校生活を送れたことが今の自身の理念に繋がっており、自身を取り巻く環境や人々にも恵まれ、毎日充実した生活を送ることができています。

私は食堂の担当ではなくSV(スーパーバイザー)として公立小学校の給食調理業務受託事業所を担当しているのですが、SVとは事業所の進捗管理や従業員の管理及び育成、また、取引先深耕を念頭に置き日々取り組むものと考え、従業員や取引先職員とのコミュニケーションを大切にしています。

これからも信念をもち成長し続けられる人として取り組んでいきたいと思っています。



# Glocal StudyⅢ 2022年度活動レポート

教諭 勝見昌浩

4年目を迎えた地域協働学習「Glocal Study」は、22年度よりSGHネットワークの一員になり、よりグローバルに考えるという指向が増しました。今年の高校3年生の成果発表に顕著なのは、調べたことをふまえて〈行動する〉という意識です。NPOや企業で課題に取り組まれている方と直接関わったことの意義、痛みをかかえる当事者の方に話を聞いて寄りそう意識、小中高大生のリサーチ先を探索してつながりを築いた努力などが、自覚的に振り返られています。また、「生徒と教員が同じ視点で共に考える」という意味での協働も進んできたように思われます。

## 1 食品ロス解消×飢餓問題解消

高校Ⅲ年A組 藤井 結良

私たちフードロス対策班は、食品廃棄や飢餓問題について考える中で、桃谷駅前の鳴門屋さんに協力していただき、毎月曜日の朝、売れ残ったパンを校内で販売することにしました。1つ100円で売り、売上げの6割を鳴門屋さんへ支払い、4割をハンガーゼロさんに献金し飢餓対策活動に役立てていただいています。今年度は約7万円の寄付ができました。この活動を通して、わずかでも社会貢献ができたこと、仲間とやり遂げられたことを嬉しく思います。私たちの卒業後もこの活動は引き継がれます。一人でも多く活動を経験してほしいと思います。



## 2 LGBTQへの偏見をなくすには

高校Ⅲ年E組 川田 珠鈴

私たちのチームは、まず図書やWeb資料でLGBTQに関する正確な知識を増やし、最終的には当事者の方にお話をうかがう機会をいただきました。その方は、私たちと同じ高校3年生のレズビアンの方です。中学生の頃に自分がレズビアンだということが広まってしまい、クラスメイトにいじめられたことがあると話してくださいました。自分の常識と違うことで他人を否定するのではなく、誰もが本当の性別を、周りを気にせず言い合える世の中になってほしいと思いました。



## 3 人道危機下の女性たち

高校Ⅲ年A組 福田 さくら

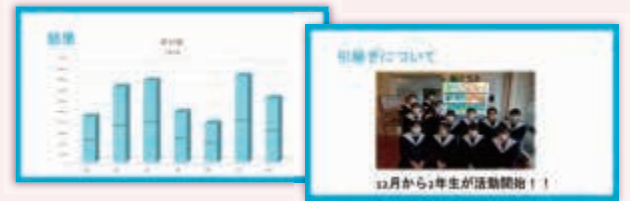
私たちは、戦争や紛争下における女性の扱いについて調べ、ウクライナの女性支援のための募金活動を校内で行い、集まった約17,000円を献金しました。募金活動を行う前に、寄付先である国連ウイメン日本協会の理事長、橋本ヒロ子さんにお話をうかがうことができました。今回の活動を通して、ウクライナ紛争など人道危機下において、女性は性暴力の被害を受けたり、安全に出産できないなどの問題が起こっていることを知り、あつてはならないことだと思いました。戦争や女性差別がない世界にするために、自分たちができることを考え、行動していきたいです。



## 4 ハンガーゼロ自動販売機

高校Ⅲ年E組 大堀 愛眞

私たち自販機チームは、昨年度に引き続き、SDGs「2.飢餓をゼロに」「3.すべての人に健康と福祉を」という目標に基づき活動してきました。活動内容は主に、1本当たり10円が寄付される自販機に、毎月の寄付額を示すカウンターの設置、季節に合わせたドリンクの入れ替え、ポップの作成を行いました。この活動の結果、設置から7ヶ月で合計8万2400円を集めることができました。活動を通してハンガーゼロさんやキリンビバレッジさんなどの企業の方々と関わりを持つことができ、高校生で、世界で苦しんでいる人を助けることができると実感しました。また、飢餓問題を身近に考えられるようになりました。



## 5 教育とジェンダー

高校Ⅲ年B組 押場 紗和

私たちは、さまざまな年代にジェンダー問題について知ってもらうことを目標に、小学生・中学生・高校生(女子校・男子校)・大学生にアンケートを実施しました。回答していただいた総数は約700名です。調査から、今の若者はどのくらいジェンダー問題についての認識があるのかを比較・分析しました。この結果は、回答をくださった学校に送る予定です。活動を通して、一人でも多くの人に関心を持ってもらえたらうれしいです。





## ハンガーゼロ 自販機について

チャブレン 成岡 宏晃



2019年度よりプール学院では地域との協働による高等学校教育改革推進事業〔グローバル(グローバルとローカルの造語)型〕に参加しています。※〈2022年度よりSGH(スーパーグローバルハイスクール)参加校となっています) 生野区は様々なルーツを持つ人が集まる多文化共生の町です。最初はそれを知ることから始まりました。第一段階として、生野区の区役所の活動、NPO団体とその活動を学びました。翌2020年度は日本における難民の実態について学びました。難民支援の団体と協力して物資を送らせていただきました。昨年はコロナで具体的な活動は実施できませんでしたが、ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)のスタッフであるジェロムさん(コンゴ出身)に本校で講演していただき、私たちは非常に大きなインパクトやショックを受けました。そこで生徒から自発的に「自分たちに何かできるのではないか」という思いが生まれ、昨年度10月頃からハンガーゼロさんの活動に参加しようということで自販機の設置を実現することができました。

本校では2022年3月まで自販機チーム、募金チーム、フードロスチーム、広報チームを作ってグローバルスタディの活動をしていました。フードロスチームは、近所のパン屋さんの廃棄になるパンを校内で売り、その差額をハンガーゼロさんに募金したいと計画しました。募金チームは、「名物」教員のグッズを特典として募金活動を行い、3万円ほどの募金が寄せられました。

キリスト教の教えに基づいた「愛と奉仕」の実践とは、他者のために自分にできることは何か、そのために自分にできることは何かを追求し続けていくことであると信じています。とりわけ世界が抱えている諸課題について、傍観するのではなく自分のこととして捉えて私たちにできることを示していきたいと考えています。



### 生徒メッセージ

## ダンス部の活動を通して 後輩へ伝えたいこと

高校Ⅲ年E組 高校ダンス部 塚田 結子

毎年ダンス部は、夏に2つのジャンルのダンスの大会に挑戦しており、今年はストリートの大会で、初めてビッククラス(大人数編成)に出場しました。実は、この大会の出場歴は浅いものの、スマールクラス(少人数編成)では2年連続で全国大会へ出ています。それに続きたいという大きな目標もあり、プレッシャーを感じていました。

35人という大人数では、踊りどころか、部員の予定さえ揃わず、練習時間は非常に長くなり、とても辛かったです。ですが、日に日に「全国に出る」という皆の自覚と熱意が増し、活動そのものに一体感を感じていました。しかし、この大会の結果発表ではプールの名

を呼ばれることはありませんでした。

悔しさもつかの間、次の創作ダンスの大会は5日後に迫っていました。作品は未完成で、全国を逃した悔しさの中、休む間もなく前に進むしかありません。長いハードな練習が続き、満身創痕の中、それでも頑張ろうと励まし合い、あきらめずにサブフロアに足を運びました。その結果、受賞することが非常に難しいとされるこの大会で「神戸市長賞」という創部以来、初めての大きな賞を頂きました。結果発表で名前を呼ばれたときは、本当にうれしくて、同期や先生と喜び、泣き叫んだことを昨日のように覚えています。

この夏を乗り越えて、学んだことは「どんなにつらい状況でもあきらめられないこと、仲間とともに協力して目標達成に向けてがんばること」です。



ダンス部の活動で得たものを胸に、私達3年生はそれぞれの道を進んでいきます。後輩のみなさんも勉強やクラブ活動であきらめずに一歩ずつ前進していきましょう。ありがとうございました。

## カフェテリアリニューアル

事務局長 中山 浩子

チャイムの音と共に、カフェテリアの画廊を通りかけこむ生徒達の姿。

目当ては、カフェテリアで焼き上げるほんのりあまくてフワフワの焼きたてのメロンパン。生徒達の喜ぶ姿をカフェテリアのスタッフのみなさんも微笑ましく思ってくださいています。2004年から長きにわたり本校のカフェテリアを運営して下さった業者より7月末日をもって契約を解除したい旨の連絡がありました。生徒の学校生活に支障のないよう運営会社を選定した結果、株式会社馬淵商事様が本校のカフェテリアの運営をお引き受けくださる事になりました。コロナ禍により2022年8月29日オープン以降も食堂では一方を向きながらの黙食が続いています。おしゃべりと笑



顔が溢れる日が一日も早く戻ってくるのを願ってやみません。

安心・安全でおいしくたのしい食堂を目指して下さるスタッフさんのお心で、10月31日には、イベントメニュー（ハロウィン）を考えてくださいました。高



IIの生徒さんより「人形が可愛くって、美味しかったです。次のクリスマスメニューも楽しみにしています。」という声もありました。在校生のみならず3年ぶりの賀寿祝福礼拝で同窓生のみなさんも母校へ帰られ、新しくなった食堂に足を運んでくださいました。同窓生のみなさんのお口にもメロンパンは好評でした。

次いで、老朽化し破損しやすくなっていたカフェテリアの椅子を卒業生の卒業時の寄付金を用いて新調致しました。5色の椅子を混ぜたカラフルで明るい食堂となっております。

## 鳥原 碧華さんについて

芸術科 美術担当 内山 直樹

第71回大阪私学美術展において、本校中学校2年生の鳥原碧華さんが初出品で中学校部門最高賞である大阪私学美術・工芸教員研究会会長賞を受賞した。

彼女は、中1の3学期に入ってから美術部に入部した。今回受賞した作品は、1年生の春休み中に制作を開始したものであった。その作品の下書きは、イラストであるが、何も見ないで、ただただ、想像上のイメージのみで世界を造り上げていったものである。

これは、私の持論であるのだが、「物を見ないで描くにはまず、物を見て描けるようにならなくてはならない。」ということを時々授業でも言っているので、私はまず物を見ながら実物を描く写生に重きを置いている。

ところが、若干13歳の中学校1年生が物を見ないで、イメージだけで様々な、人間・本棚・動物・実験器具など材質の異なるものを鉛筆、およびペンを駆使し、正しいデッサン力で描いて見せたのである。これには驚嘆した。特に驚いたのは、ピーカー等の形や、透明に透けて見える感じも何の指導もなく描いて見せたのである。

彼女は、驚いたことにこう言った。「ガラス初めて描いた。」私は思わず「何でそんなに描けるの?」と言ったことを覚えている。

下書きの時点ですでに高校生並みの技量であったが、そこか

ら地獄のペン入れ作業が始まり、並外れた集中力で描きこんでいった。ここに時間がかかることは分かっていたが、ようやく全体のペン入れができたのは、中2になった6月頃であったと記憶している。そこから透明水彩絵の具で明るい色から順番にのせていく作業が始まった。それによって、深みが増していった。仕上げに近い頃、私は鳥原さんに「研究会会長賞を目指そうか。」と言った。それをあっさりと取ってみせた。

彼女の制作スタイルは、一種の冒険である。未開の地に踏み出して挑戦していく。挑戦し開拓することを楽しんでいる節がある。できるかどうか分からない世界を多くの人は躊躇してそこで止まってしまうのであるが、そこを迷わず行い、それができてしまうところがすごいと思う。

本校の生徒の中には、私が逆立ちしてもできないような賜物もっている人が多くいる。私はそれらの若き才能に敬意を払っている。結果として世に出る人とそうでない人の違いは自分の良さに気がついているか否かの違いだと思う。

コロナ禍の中、残念ながら本校に限らず多くの若者がマイナス思考になっていく。若さは武器である。なんだってできると思う。私は、本校の生徒のみなさんにはすべての学習に手を抜かず挑戦してその中で好きなものを見つけてそれを磨きあげてほしいと思っている。今回の鳥原さんのように「好きこそもの上手なれ。」これに尽きると思う。



カフェテリアは放課後学習センターの場にもなっており、新しい椅子で姿勢正しく勉学に励んでいます。

リニューアルした今年、プール学院で過ごす大切な思い出の場所の一つがカフェテリアとなりますように。



## 中・高後援会について

後援会会長 奥井 浩子

はじめまして。中・高後援会です。平素は後援会活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

後援会は、2007年9月に発足した高等学校卒業生の保護者会です。当時、現在の校舎を建築中で多くの保護者が建築募金に協力いたしました。しかし、年度を越えての建築だったため完成を待たずに卒業をした生徒達の保護者から後援会を立ち上げて欲しいと言う声が上がりました。また聖友会(PTA役員OB・OG)の発展的解散と重なり、多くの方の賛同を得て発足し現在に至ります。

メアリーズベル、ラウンジのピアノを寄贈し、成人祝福礼拝には、会員として保護者の皆さまも一緒にお嬢さまの成人をお祝いしております。娘の母校をいつまでも応援する事をモットーに活動しております。趣旨にご賛同いただければどなたでもご加入いただけますのでよろしく願いいたします。

## アロマワックスサシェ講習会

PTA書記 村井 宏行

PTAの「アロマワックスサシェ講習会」が10月22日(土)にpolepole-candleworksを主催されている迎愛先生をお迎えして催されました。

PTA研修委員長の中まどかさんを中心に研修委員のお母様方が参加者お一人おひとりに丁寧なアドバイスをしてくださり、和気あいあいとした中で制作がすすみます。それぞれの作品を持ち寄ってあちこちで話に花が咲きました。最後にPTA書記の城口香代さんがPTAを代表して迎先生に花束を贈呈され、その後みなさんで仲よく写真撮影。秋の昼下がり、穏やかなひとときをすごさせていただきました。







## ご報告

一般社団法人POOLE  
理事長 鈴木 光子  
(高73回・小柴)



プール学院同窓会は法改正により2012年2月に一般社団法人POOLEを立ち上げ2022年2月に設立10年を迎えました。法人名は変わっても同窓会は「愛と奉仕」の精神を心に留めプール学院を支援することを第一の目的とすることに変わりはありません。

同窓会は国内では関東支部、中部支部、九州支部が置かれ、海外ではカナダとアメリカが合併して北米支部となり、活動を続けております。カナダのバンクーバーでは先輩方が留学生を迎えピクニックやお茶のひとつときをお世話して下さっております。日本では北海道から沖縄まで、世界では北米はじめ、ヨーロッパ、アジア、オーストラリア、ブラジル等々20カ国に116名の同窓生がおられます。

皆さまの交流が深められるよう同窓会がお役にたてればなにより嬉しいことです。

## ミツパ会ご報告

プール学院ミツパ会(短期大学・大学同窓会)  
会長 五十嵐 よし子  
(高84回・短英26期・佐藤)



ミツパ会会員の皆様お変わりございませんでしょうか。大学の設置者変更、短期大学閉学後、残念ながらミツパ会としての単独活動は、コロナ禍による影響もあり行われておりません。ミツパ会独自のホームページも2022年2月で閉じましたので、今後はプール学院同窓会のホームページ(<https://www.poole-obog.com>)にて情報をご確認いただきたく存じます。

今年は、同窓生の集いにて、会員の皆様と旧交を温めたく存じます。お一人でも多くの方のご参加を心より願っております。

## 2022年(令和4年)度 一般社団法人 POOLE クラス代表者会報告

常任学年代表者委員会 委員長 桑平 麻由子(高86回・桑村)

今年度のクラス代表者会では、鈴木理事長よりコロナ禍での同窓会の活動等について報告させていただいた後、藤本雪絵校長補佐より、修学旅行や留学など縮小していた学生生活がゆっくりながらも再開してきている様子をお話いただきました。

ミニコンサートでは、佐々木真衣さん(高126回)にオペラ曲や童謡を独唱していただき、美しくパワフルな歌声がメアリーズホールに響き渡っていました。



日時:2022年10月29日(土) 13:00~15:00 場所:プール学院 メアリーズホール

## 同窓生の集い・賀寿祝福礼拝

2022年5月、清心館にて「同窓生の集い」が開催され約100名の同窓生が集いました。今回はスペシャルゲストの加藤友来(ゆら)さん(高125回)の演奏によるチェンバロの繊細で柔らかな音色により、優雅なひと時を過ごしました。

9月には還暦67名・古稀30名・喜寿17名・傘寿以上15名が集い、賀寿祝福礼拝が催されました。礼拝後は声楽家の佐々木真衣さん(高126回)の素晴らしい独唱に、南本由香里さん(高86回)とのピアノ伴奏とも相まって、さながらコンサート会場の様でした。



加藤友来さん



佐々木真衣さん

## 礼拝報告

### ■ 学徒動員殉難者記念礼拝

2022年6月7日(火)11時より、学徒・同窓会の各関係者20名が集い、慰霊碑前にて、若くして天に召された先生と先輩方の御霊を偲びました。



### ■ 室戸台風殉難者記念礼拝

2022年9月21日(水)11時より、殉難記念碑前にて、礼拝中校舎の下敷きになり亡くなられた17名の先輩方のお写真に向かい、「主よみもとに近づかん」の聖歌をお捧げし、魂が癒されますようにと全員でお祈りいたしました。



### ■ 同窓会 クリスマス礼拝

2021年12月に引き続き、2022年12月17日(土)においても川口基督教会にて同窓会クリスマス礼拝が行われました。冷たい雨が降る足元の悪い中、70数名の方々をご参加くださり、柳時京司祭、司式のもと皆さまと共に礼拝を捧げることができました。



#### 行事予告

同窓生の集い	2023年5月20日(土)13時~
賀寿祝福礼拝	2023年9月9日(土)11時~
同窓会クリスマス礼拝	2023年12月16日(土)14時~ (於:川口基督教会)



## 学校法人トリストラム学園 認定こども園 プール幼稚園の歩み

理事長 大坪栄子(高74回 清水)

今から57年前の1966年(昭和41年)4月、プール学院同窓会によって大阪市東住吉区矢田に小さな種が蒔かれました。学校法人トリストラム学園プール幼稚園です。当時の同窓生の中には小さな種が育つかどうか心配なされた方も大勢おられたようです。小さな種は神さまに御守られ、地域の皆様や保護者の方達に温かく支えられて、思い悩むこともありました、大きな事故もなく明るく元気な子ども達と共に育まれていきました。

法人名のトリストラム先生は幼子の教育にも熱い思いを抱かれています。

プール幼稚園は同窓会がトリストラム先生の志を継ぐべく、河辺順同窓会長を中心に設立された園であり、学校の創立85周年の記念事業の一環として推進された事業でもありました。

幼稚園設立の前に同窓会は勝山校舎北側宣教師館の隣に1953年(昭和28年)、教育事業と卒業生の働き場所として無認可の保育園「子供の園」を開園しています。

「子供の園」保育園は、1966年(昭和41年)3月に閉園され13年間の歴史を閉じましたが、プール幼稚園は「子供の園」保育園を法人格に昇格、矢田に移転させたものであります。

開園当初の幼稚園の周りは多くの田畑とため池に囲まれ道路は未舗装でした。園舎は一部2階建ての素朴な木造建築でフェンスは木製の低いフェンス。

1970年代頃から時代と共に幼稚園の周りも区画整理や都市計画が進み、埋め立てられた田畑や池は宅地化され、次々に住宅が建てられ、全て舗装された周りの道路は、交通量がどんどん増えていきました。

近鉄南大阪線がまだ路面を走っていた頃、園児の集団登降園の折、矢田駅の踏み切りを30人近い子ども達を連れて渡るときの緊張感はまだ、体に残っています。

プール幼稚園の設立、運営に当たっては色々な困難が伴いました。幼稚園の開設にはまず、地元の方達の賛同が必要でした。又、一時学校に寄付されていた矢田の土地は戦時中、学校の生徒達の畑として活用されていましたが、戦後の農地改革により土地は政府に没収されることになりました。この施策に納得のいかなかった同窓会は河辺順会長を中心に矢田の土地の返却運動を起し、幸いその運動は成功し、土地は元々の所有者であった同窓会所有のものとなりました。

園地は同窓会所有であった為、園は同窓会に土地代を少しずつ償還していきました。何年もかけて償還が終わった時点で、道路を挟んで園の畑として活用していた南側の土地を売却し、現在の新園舎が与えられた次第です。1994年(平成6年)12月のことでした。



新園舎は落ち着いた色彩の鉄筋コンクリートの2階建てで、耐震対策もなされ、2階の図書室と樹木に囲まれた広い園庭は子ども達のお気に入りの空間です。

もし、新園舎が与えられていなかったら1995年(平成7年)1月に起こった阪神淡路大震災での被災は免れなかったことでしょう。園生活も滞っていたと思います。

園の門を入ると、周りとは違った雰囲気感が漂っている、と園を訪れて下さった方達からよく言われます。神様が心地よい風を吹かせてくださっているのかも知れません。

開園当初のプール幼稚園が大事にしてきたことはキリスト教、音楽、自然観察、と入園案内のポスターに記されています。現在もその理念が生かされて過ごしていることに不思議なお導きを感じています。

プール幼稚園は皆様と共にこれからも「愛と文化を伝える園」として人と人との繋がりや、色々な出会いを大切に歩んでいきたいと思っています。

卒園生がよく訪れてくれるプール幼稚園。

幼稚園に帰ってきた時の合言葉は「葡萄の木」です。

5年前には幼稚園型の認定こども園に移行、10年前には園バスも導入しました。

プール幼稚園は同窓生の皆様お一人おひとりの幼稚園です。園の廊下には園庭に向かって木製の「どうぞの椅子」があります。座るといつでも元気になれる椅子です。嬉しい時も悲しい時もいつでもお掛けください。プール幼稚園が皆様にとって心地よい居場所となりますように。



初年度の園児募集ポスター

## プール学院短期大学について

卒業生の方に向けた  
ホームページを公開しています。



### 1. 短期大学に関する窓口

#### 学校法人プール学院 事務局 短期大学係

大阪市生野区勝山北 1-19-31  
TEL : 06-6741-7005 FAX : 06-6731-2431  
E-mail : tandai@poole.ed.jp  
受付時間 : 月～金 10:00～16:00  
(祝日および学校休業日は除きます。ご来校の際は、事前にご確認ください。)

### 2. 証明書発行

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

### 3. 短期大学記念室

短期大学に関する資料、出版物、記念品等を展示しています。



場所：プール学院中学校・高等学校 清心館礼拝堂のとなり

対象：卒業生、旧教職員、学院関係者

開室日時：原則として月～金 10:00～16:00

(日曜・祝日及び学校休業日を除きます。土曜日については応相談。また、平日でも学校行事等によりご利用いただけない場合があります。)

\*事前申込制です。詳細につきましては、ホームページをご確認ください。

### 4. ご相談やお問い合わせ等

短期大学に関するご相談、ご質問等がございましたら、プール学院 事務局 短期大学係までお問い合わせください。

## プール学院大学・大学院の 証明書について

プール学院大学は2018年4月、設置者変更により学校法人桃山学院が運営する桃山学院教育大学になりましたので、卒業生・修了生等の証明書の発行は桃山学院教育大学で行われます。

詳細につきましては、桃山学院教育大学のホームページをご確認ください。

## 学院人事

### ■ 学校法人役員・評議員

〈就任〉

－2022年4月1日付－

評議員 岡田 賢三  
評議員 中山 浩子

－2022年8月1日付－

理事 澤村 厚司  
理事 巽 浩士  
理事 中山 浩子  
評議員 藤本 雪絵  
評議員 阿部 良一

〈重任〉

－2022年4月1日付－

評議員 松原 恵美子  
評議員 田中 幸一  
評議員 鈴木 光子  
評議員 大坪 栄子  
評議員 成岡 宏晃

〈退任〉

－2022年3月31日付－

評議員 松平 功

評議員 柳原 高志  
評議員 太田 幸彦  
評議員 石井 英隆  
評議員 澤村 厚司

評議員 池田 周弘

### ■ 教職員

〈採用〉

－2022年4月1日付－

\*中学校・高等学校 教育職員

常勤講師 加茂田 直美  
常勤講師 石原 愛花  
常勤講師 杉江 泰人  
常勤講師 木野 真希  
常勤講師 伊藤 歩  
常勤講師 ファルク スティーブン  
常勤講師 井上 千聖

\*事務職員

常勤管理職嘱託職員 奈良垣 実

〈登用〉

－2022年4月1日付－

\*中学校・高等学校 教育職員

専任教諭 宮井 亜人夢  
\*事務職員  
専任事務職員 東畑 綾

〈昇任〉

－2022年8月1日付－

\*事務職員  
事務局長 中山 浩子

〈退職〉

－2022年3月31日付－

\*中学校・高等学校 教育職員

専任教諭 久保 義道  
任期制専任教諭 田邊 裕美  
任期制専任教諭 川畑 公美子  
任期制専任教諭 小堺 航

\*事務職員

専任事務職員 毛見 博長

### ■ 訃報

● 宇野 徹

2022年3月8日 逝去  
2003年10月11日～2008年9月19日  
理事、評議員

● 山本 博昭

2022年3月19日 逝去  
1957年4月1日～1996年3月31日  
プール学院中学校・高等学校  
専任教諭

● 岩坂 正雄

2022年4月4日 逝去  
1992年4月1日～2004年3月31日  
学院長  
2003年4月1日～2012年3月31日  
理事長

● 井上 幸子

2022年12月1日 逝去  
1989年4月1日～2008年3月31日  
プール学院中学校・高等学校  
専任事務職員

ご在職中のお働きを覚え、  
つつしんで魂の平安を  
お祈り申し上げます。